

| 教科 | 課題（現状、傾向、課題分析） | 改善プラン（改善のための具体策や取組） | 成果(○)と課題(△) |
|----|--|---|-------------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を表現しようと意欲的に取り組む児童は多いが、相手に伝わるように内容を整理し、分かりやすく言葉に表すことに課題がある。 文を書く活動では、改行や句読点の打ち方などの基本的なことは身に付いているが、段落分けが適切ではなく、文章の内容がまとまっていない児童が多い。 文法や漢字の定着、語彙力に個人差が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの形態やきまりを定期的に指導する。 交流の際、物事への見方や感じ方の違いを楽しむように、相手意識やねらいをもって活動させる。 文を書いた後に必ず推敲したり、友達と読み合ったりして、表現力を高める。 よい文章に出会えるように、読書活動に取り組む。 辞書を用いて調べる習慣を付けられるように環境を整える。また、既習した漢字は使用するよう指導する。 | |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象に興味をもつ児童が多い。 政治のしくみや市区町村の取組みについては苦手意識をもつ児童が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習内容が単発的な知識とならないよう、現代社会との繋がりを意識させながら学習できるようにする。また、児童の疑問をもとに学習が始められるように、授業の展開を工夫する。 けやきタイムの復習プリントやワークテストの返却の際に、政治の内容については重点的に補足の説明をする。 | |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 既習の通分や約分に課題が見られる。 題意を捉え、正確に演算決定することに難しさを感じている児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 分数のみならず、比を扱う学習でも同様の課題が見られるため、けやきタイムを活用するなどして、重点的にその問題に取り組めるようにする。 様々な単元で、文章の問題に取り組めるようにする。また、その際には、立式の意図やその説明までできるようにして、演算決定の力を高める。 | |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 実験や観察について、興味関心をもって取り組む児童が多い。 仮説を立てる際に、知識が先行してしまい、自分の体験や日常の現象と結び付けながら考えることが難しい児童が多い。 実験や観察の結果を分かりやすく表現することが課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> 身近なものから課題を見付けられるように、導入の工夫をする。 常に自分の生活とのつながりを考えるように指導する。 考えが広がるように、意図的にグループ学習を取り入れていく。 結果の表し方は、分かりやすくまとめるために図やグラフ等を取り入れて表すように指導する。 | |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学習に取り組める児童が多く、響きのある歌声を持続できるようになってきた。歌詞に込められた思いや情景を理解し、表現に生かすことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> のびのびと歌い続けることができるよう、常時活動で安心感をもたせたり、主旋律を十分に歌ってから副旋律に取り組んだりするなどの工夫を続ける。曲のよさを感じた上で歌声の重なりを理解させ、響きが豊かになる心地よさを今後も味わえるようにする。 聴くポイントを明示し、曲や音が終わった余韻まで大切 | |

| | | | |
|------|---|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽から聞き取ったことや感じ取ったことを言葉で表現することができる。音楽を最後までじっくり聴き続ける力が必要である。 ・合奏では自分のパートを集中して演奏することができる。パートごとの役割を理解して聴き合い、演奏に生かすことが必要である。 | <p>にすることを指導し続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な表現や演奏だが、他のパートに耳も心も向けるように指導すると、きれいに合う演奏ができるため、今後もそのよさを認めつつ指導を続ける。 | |
| 図画工作 | <ul style="list-style-type: none"> ・粘土などの立体造形に苦手意識をもっている児童がいる。 ・自分の感覚を通して考え、表現することが少ない。 ・固定概念から脱却することが難しく、表現が広がらない児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・油粘土や紙粘土などと触れ合う機会を増やし、造形活動を楽しむことで苦手意識を軽減させる。 ・すぐにタブレットで参考画像を検索するのではなく、過去の経験や思い出を基にして表現するように指導する。 ・鑑賞などの時間を使って、友達の作品だけでなく世界の絵画や造形物を紹介することで、表現の自由さに気付かせる。 | |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の生活を振り返って課題を見付けており、習い事等で家族との時間を作ることが難しいとの声が多く挙がった。 ・自分の作品や調べ学習について、情報機器を効果的に活用し、既習した内容を生かしながら発表をしている。 ・調理方法や手順を自分たちで調べ、調理に関心をもつ姿が見られた。 ・実習を通して、目的をもって取り組み、これからの生活に役立てようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業前後に、家族の一員としてできることなどを計画し振り返る時間を設け、改めて自分自身の生活を振り返らせる。 ・相手意識をもたせながら、活動をさせる。 ・家庭の仕事で分担できることを考えさせ、家族と向き合うことの大切さに気付かせる。 ・家庭と連携しながら学習を行い、実生活と学習が結びつくようにする。 ・2学期以降、調理実習を行うため、安全に十分に気を付け、実感を伴った理解ができるようにする。 | |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動の学習を通して、ボールの扱いの技能が高まった。 ・水泳運動では、児童がこれまでの学習を振り返りながら、潜る・浮く・泳ぐの運動に取り組むことができた。 ・運動における、自己やグループの課題の把握に難しさを感じていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元前半と後半での技能の高まりについて、動画を見せたり、言語化したりして実感できるようにする。 ・引き続き、これまで経験した動きなどを学習と関連付けて児童に伝え、考えて動く経験を増やしていく。 ・ノートや学習カード、タブレットでのデジタル体育ノートなど、児童が自分の動きについてじっくりと考える機会を保障する。 | |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に声を出し、様々な活動に前向きに取り組む児童は多いが、苦手意識をもっている児童もいる。 ・英文を書くことに抵抗なく取り組める児童が多い。 ・スピーチなどの発表では、自分のことを相手に伝えようと工夫する姿が見られた。 ・アルファベットの小文字を全て覚えていない児童 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の学習を楽しいと感じられるように、課題の提示の仕方やアクティビティの工夫を、ALTと講師と協力して授業を作り上げる。 ・スピーチなど発表場面を継続して取り入れ、お互いの良さを認め合いながら、一人一人が力を付けられるようにする。 ・書く活動を継続して取り入れ、大文字と小文字の違いや | |

| | | | |
|----|--|--|--|
| | が見られる。 | 読み方について指導していく。 | |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値に照らし合わせて、児童が自分の生活について振り返ることが難しい。 ・感じたことや考えた事をワークシートにまとめることができている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童が、その道徳的価値に向き合えるように、時には、道徳的価値そのものについて発問をするなど、展開や発問を工夫する。 ・書いたことを児童同士で共有させ、道徳的価値についての視野をさらに広めさせたい。 | |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに対して自分なりの課題を設定し、意欲的に調べ進めることができている。 ・調べる際に、インターネットに頼る児童が多く、資料の活用や取捨選択することに課題が見られる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもてるようなテーマの提示の工夫を行う。 ・インターネットを活用する際は、学校側が厳選したサイトの中から調べるように指導する。 ・図書資料を活用できるように、環境を整える。 | |